

報道機関各位
「TAIZA プロジェクト」起工式及び広報発表会のご案内

株式会社REVIVE及び株式会社日本の窓（京都市右京区：代表取締役 ルガシ・アブラハム）は、この度、京都府京丹後市・間人（たいざ）地区で長年、織物工場として操業してきた旧中健織物工場群跡地及び、間人区を中心とした周辺地域に点在する住宅跡地10棟等を改装し、『伝統文化を活かし、未来を創造する』という理念を掲げ、地域住民、地元関係者、地元行政の皆様方のご協力と協業の下、丹後地方の織物文化をテーマとした文化観光拠点として整備し、広く織物製造業、観光業、その他関連産業の復興と振興を目指し、2026年4月より改装工事に着工致します。

下記の通り、今月3月25日（水）10:00～11:00 中健織物跡地にて、京丹後市 中山 泰（なかやま やすし）市長を始めとする関係者、ご支援者等のご臨席の下、起工式及び広報発表会を開催致しますので、どうかご来場、ご取材方、よろしくお願い申し上げます。

◆「TAIZA プロジェクト」について
【VISION / ビジョン】
『 伝統文化を活かし、未来を創造する 』

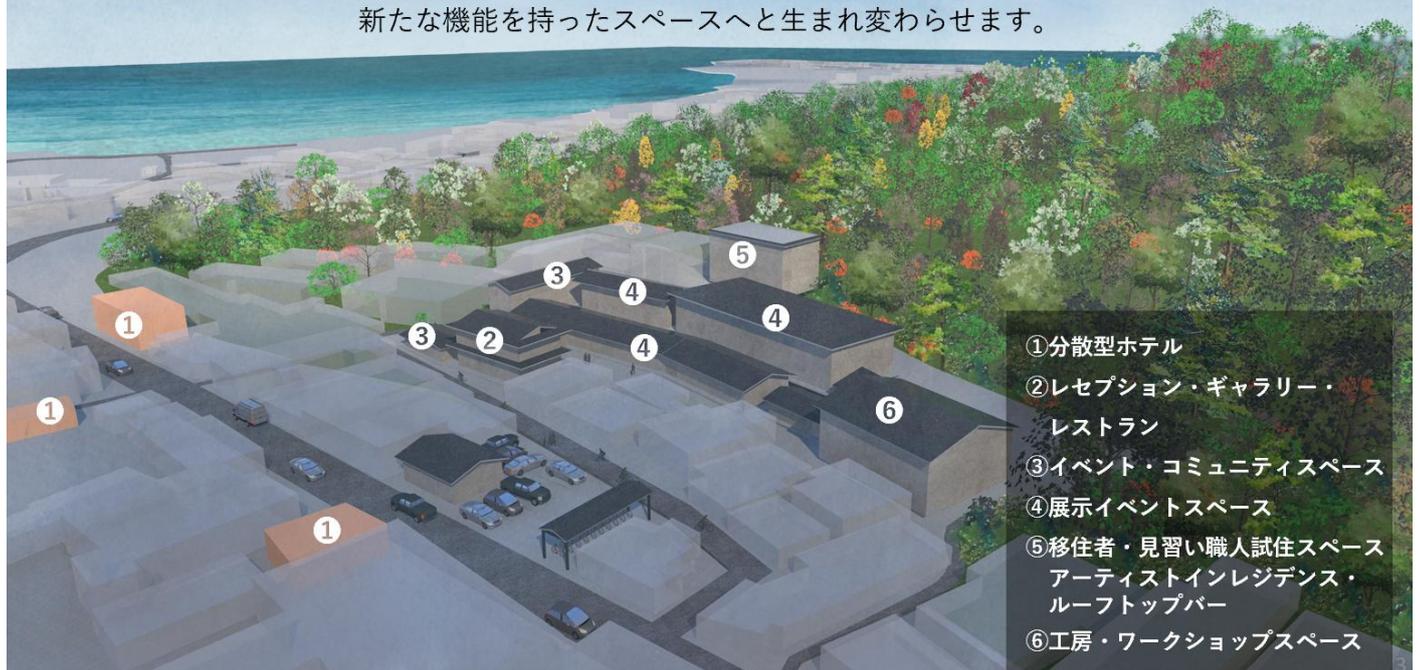
間人・丹後の活性化のため、地域の職人技や伝統を守りつつ、未来の職人やアーティスト・デザイナーの注目を集め、日本の職人技を世界に発信するための場所を、ここ間人につくります。

【MISSION / ミッション】

間人の織物工場や空き家を改修し、日本遺産「300年を紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊」を次世代へ繋ぐ場所をつくります。この場所は、新しい職人たちを刺激し、彼らが働き暮らす空間であると同時に、間人の人々と触れ合い、この土地の暮らしを体験できる空間へと生まれ変わります。

間人プロジェクト構想

ミッションを実行しビジョンを達成するための組織として、株式会社REVIVE（リヴァイブ：再興）を設立し、事業に取り組みます。
当社は京丹後市丹後町間人にある「中健織物」の工場と寮を譲り受け、
同施設の歴史と織物文化をリスペクトしつつ、
新たな機能を持ったスペースへと生まれ変わらせます。



- ①分散型ホテル
- ②レセプション・ギャラリー・レストラン
- ③イベント・コミュニティスペース
- ④展示イベントスペース
- ⑤移住者・見習い職人試住スペース
アーティストインレジデンス・ルーフトッパー
- ⑥工房・ワークショップスペース

施設利用計画

TAIZA Projectでは間人の空き家を譲り受け、改修工事を実施した上で、地域分散型ホテル（※）として活用します。それぞれの宿泊棟では、元の伝統的な建物の良さを継承しつつテーマ性を持たせ、最新のデザインと地元の職人達の工芸の技を使った装飾を施し、滞在する観光客に、地域に没入した体験を提供します。この事業で開発する宿泊施設のターゲットは富裕層のインバウンド旅行者を含む多様な客層を想定しており、ピークシーズンは春・秋（国内旅行者の多い海水浴や蟹のシーズンとは異なる）を想定しています。

（※）地域の廃屋や空き店舗をリノベーションし、レセプション、客室、食堂等の機能をそれぞれの棟に分散させ、エリア全体で宿泊・観光体験を提供することで、宿泊した人たちが自ずと町を回遊し、地域そのものに活力をもたらす仕組み

★地図は分散型ホテルのイメージ図であり、実際の建物の位置は異なります。

分散型ホテル



現在「中健織物」の工場として利用されている建物群は、段階的に改修を行い、展示イベントスペース、コミュニティスペース、レストラン、物販店舗として活用する予定です。

展示イベントスペースでは、主に「工芸」にスポットを当てたアートクラフトイベントの実施を検討しています。域内外から発信力の高いアーティスト、クリエイター、職人等呼び込み、地域全体の訴求力を高めることに貢献します。

コミュニティスペースでは、若手職人向けのレンタル工房や、コワーキングスペースとして活用することも検討しています。

レストランでは、地元の豊富な海産物やオーガニック野菜、地酒等を用いて、創作和食レストランを開設し、丹後の食の魅力も堪能して頂きます。物販店舗では、展示される工芸アート作品の販売や、地元の織物を使ったデザイン雑貨、ファッション雑貨等、ハイセンスなグッズを取り揃えてインバウンド客にも訴求します。

展示イベントスペース
コミュニティスペース



※上記施設利用計画は、企画段階の物で、今後変更の可能性がります。

TAIZA Project 起工式及び広報発表会

開催日時：2026年3月25日（水） 10:00～11:00

開催場所：中健織物工場跡「TAIZA Project」
改装工事予定地
京都府京丹後市丹後町間人 1500-2



Google MAP

起工式・広報発表会参加登録及び、取材ご依頼用 お申し込みフォーム

3月23日（月）17:00 までにお申し込みをお願いします。

[こちら](#)をクリック頂くか、
右のQRコードより、
ご登録をお願い致します。



登録フォーム QR コード

※起工式にご参加頂ける方は平服でお越しく下さい。
※当日ご参加できない方でも、取材受付をしております。上記フォームよりご登録願います。

◆お問合せ先

株式会社 REVIVE 「TAIZA プロジェクト」 間人（たいざ）連絡事務所

担当：中里 佳史（間人地区 地域おこし協力隊 合同会社まるっぽ間人代表）

〒627-0201 京都府京丹後市丹後町間人 1974
携帯電話：090-4769-8215

- ・本事業は、経済産業省・中小企業庁・中小企業基盤整備機構の認定する「100億企業宣言」並びに「令和6年度補正予算中小企業成長加速化補助金（一次公募）」の採択を受けております。

詳細：100億企業ポータルサイト <https://growth-100-oku.smrj.go.jp/>



- ・改装工事期間
2026年4月～2028年3月（予定）
- ・総工費
約18億円（予定）
- ・開業予定
2028年 春

事業主催者等のご紹介

株式会社 REVIVE 代表取締役 ルガシ・アブラハム (株式会社日本の窓代表取締役兼務)



プロフィール

1964 - イスラエル生まれ。

1989 - 日本初来日 1年半滞在する。

1994 - エルサレム・ヘブライ大学東アジア人類学卒業後、イスラエル大手旅行代理店で上級公認ガイドとして、シルクロードを含むアジア全域での旅行事業に関わる。

1995 - 再来日、以降日本に居を構える。

3年間禅寺で修行。弓道二段、陶芸、盆栽をはじめ、多くの日本の伝統文化を学ぶ。

2005 - 「日本の窓 Windows To Japan」社を京都で設立。現在では体験観光（イマージュン旅行）のトップ企業として知られる。

2013 - 「日本の窓 Windows To Japan」社は、欧米のハイエンド観光エージェントである、Virtuosoをはじめ、Signature、Traveller Madeの公認オペレーターとして多くのハイエンド観光客を案内している。日本での特殊な経験を基に、日本全国の地域文化や、かけがえのない価値を感じられる旅行体験を創出している。

2025 - 株式会社 REVIVE を設立。TAIZA プロジェクトを立ち上げる。

株式会社REVIVE 執行役員 西堀 耕太郎 (株式会社日吉屋・株式会社TCI研究所代表取締役兼務)



1974年和歌山県新宮市生まれ。カナダ留学後、地元新宮市役所経済観光課勤務。

結婚後、妻の実家「日吉屋」に参画。

2004年日吉屋五代目就任。「伝統は革新の連続である」を企業理念に掲げ、伝統的和傘の継承のみならず、和傘の技術、構造を活かした新商品を積極的に開拓、国内外のデザイナー、アーティスト、建築家達とのコラボレーション商品の開発にも取り組み、2008年より海外展示会に積極的に出展。和風照明「古都里-KOTORI-」シリーズを中心に世界約15カ国に展開。

2012年、日吉屋で培った経験とネットワークを活かし、日本の伝統工芸の海外向け商品開発や販路開拓を支援するTCI研究所を設立し代表に就任。延べ約700社以上の企業の海外展開等を支援。

2022年京都中央信用金庫100%子会社である地域商社株式会社アンプリチュードの立ち上げに関わる。

伝統工芸のハイエンドインテリア市場開拓等に取り組み、国内外に販路を拡大。

2025 - 株式会社 REVIVE に執行役員として関わり、TAIZA プロジェクトの総合プロデュースに取り組む

・事業運営アドバイザー

株式会社アクアイグニス 代表取締役 立花 哲也 (ヴィソン多気株式会社代表取締役)

・事業パートナー

株式会社ジュネイ 代表取締役 徳永 栄美

・建築設計・内装デザイン

株式会社ローバー都市建築事務所 代表取締役 野村 正樹

・施工

株式会社大滝工務店 代表取締役 大滝 雄介